



こだま

 たちき 議会だより

6月 定例議会

2議案を否決 P2~P4

国保税値上げ P4

一般質問 9議員町政を問う ... P6~P14

議会改革着々と P15

No.90

平成25年8月8日
熊本県多良木町議会発行

楽しい水遊び (黒肥地保育園)

本体工事請負契約を否決!!!

6月議会

削減に伴う条例を賛成0、反対13。
約を、賛成2、反対11で否決しました!

算は、5億5,879円を追加し
万円とする。

-4億8,250万円
-1,500万円
-5,664万円

- 球磨選果場) 4億8,250万円
- 区・柳野) 1,500万円
- 498万円



リニューアルされる上球磨選果場



改修される黒肥地3区公民館

集出荷貯蔵施設整備事業(JA上球磨選果場)

県の補助金4億8,250万円を予算化

平成25年第4回定例会は、6月11日から18日までの8日間開催し、専決処分の報告及び承認8件、条例等4件、各会計補正予算4件が提案されましたが、町職員の給与削減に伴う条例案の否決に伴い最終日に、補正予算2件、町長給与削減条例1件、選任同意3件、委員長報告3件、発議1件が提案され、慎重に審議した結果、原案どおり賛成多数で可決しました。また、一般質問には、9人が登壇し、町長の考えを質しました。

町職員給与削減・石倉改修

議案否決理由は

☆国家公務員の給与削減で本町のラスパイレス指数(国家公務員平均給与額100)が95.3から103.1になり100に合わせるため、来年3月まで職員の給与額を3.1%、町長2万5千円、副町長2万円、教育長1万7千円をカットする条例案が提案された。質疑のあと3人の議員が反対討論をした。

▶久保田議員

「内需拡大が必要で消費に回す方が良い」

▶吉瀬議員

「削減するなら議会もやるべき」

▶林田議員

「地方はこれまで努力してきているし国家公務員が下げる前は町は95.3%」

賛成討論はなく0:13で否決した。

☆黒肥地石倉改修本体工事請負契約は人吉市に支店がある業者が落札し7,402万5千円で締結する議案を質疑のあと2人の議員が反対討論をした。

▶村山議員

「町内の経済活性化・雇用拡大からすると町内の指名業者が少なく町内でも施行能力は十分ある。」

▶源嶋議員

「町が発注する仕事は地元を受注を」

賛成討論はなく2:11で否決した。

責任を取り減給

ふれあい交流センターえびすの湯の指定管理者との契約のあり方、方針転換の責任を取り、町長、副町長の給料を減額(3ヶ月間10分の1カット)する条例案が、最終日に町長から提出され、全員一致で可決した。

6月定例会に提案された町職員の給与
また、黒肥地石倉改修本体工事請負契

平成25年度
補正予算

一般会計補正予
額65億3,941

○歳入の主なもの

- ★農林水産業費県補助金……………
- ★民生費県補助金……………
- ★繰越金……………

○歳出の主なもの

- ★集出荷貯蔵施設整備事業 (JA上)
- ★介護基盤緊急特別対策事業 (黒3)
- ★高齢者タクシー利用券給付事業…

特別会計補正額

- 下水道事業…………… 37万円
- 久米財産区…………… 150万円

教育委員会選任同意

「故郷や国を愛し視野の広い心豊かな日本人の育成」を教育信条としてきました。学校や社会教育等様々な経験を生かし、本町教育の発展に努めたいと思います。



【新任】
山田 信雄 氏
(多良木)

賛否激突!

臨時議会
(6月27日)

国保税値上げは？

多良木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについては、賛成9人 反対4人で可決。内容は医療費に充てる国民健康保険税が、約4千3百万円不足するため国保税を上げ、国民健康保険税の収入を増やすことが目的。医療分の概要は、所得割額を、8.7%から9.5%に。一人当均等割額を、18,500円から26,000円に。世帯当平等割額を、20,500円から24,000円に、それぞれ税率をあげるものです。これ以外に後期高齢者支援金分・介護納付金分の税率も引き上げられます。

反対討論 久保田議員

値上げの幅が大きい。税の上げ幅を少なくするために、町は一般財源投入の額を増やすべき。その基になる基金は約29億円ある。この件は、もともと国が国保への負担割合を減らしてきたことに根本的な問題がある。国保税の大幅値上げは苦しい住民の暮らしを圧迫するので反対する。

賛成討論 皆越議員

1億2千万円にのぼる滞納額など納得できない点はある。しかし、国、県、市町村ともに経営に苦勞しているのが現状。医療費の支出は待ったなしの現況。国民健康保険制度は高齢化社会のよりどころでもある。そのような点を考慮し賛成したい。

反対討論 吉瀬議員

町長は1億2千万円以上ある滞納税額に関して、住民に説明の必要がある。町長就任の平成17年度から平成23年度までの不能欠損（滞納額の削除）額が7年間で約2千5百万円にのぼる。これだけ削除しても、現在滞納繰越額は1億2千万円を超える。説明も対策もないまま税をあげるのでは税の公平性は保てない。

国保税予算の是非は？

平成25年度多良木町国民健康保険特別会計補正予算第(1号)については 賛成9人 反対4人 で可決。補正予算の内容は税率の改正によるもの。

反対討論 吉瀬議員

平成20年度から23年度に滞納額を無いものとする不能欠損が2千万円も行われている。平成19年度から24年度まで6年間わずか4人で（通常事務を抱えながら）1億円を超える滞納整理にあたらせる人員配置に誤りがある。値上げに反対する。

一般会計補正予算の是非は？

平成25年度多良木町一般会計補正予算(第3号)は、賛成9人 反対4人 で可決。内容は、庁舎空調設備修繕2百50万円、住宅リフォーム補助5百万円、文化財修繕(白浜旅館)2百万円、相撲場修繕35万円。

反対討論 源嶋議員

歴史的建造物は白浜旅館以外にもある。この建物は修繕費が高額になるおそれがある。修復した段階で町民に受け入れてもらえるのかもわからない段階での2百万円の修繕費用には反対。

賛成討論 皆越議員

2百万円が適正なる公金の支出なのか若干疑問を持つが、再三の執行部説明と、今後の支出については入念な調査をするという答弁もあり、賛成したい。

反対討論 久保田議員

2百万円を認めることにより数千万円の事業に足を踏み出してしまうのでは。使用目的も明確でない中で多額のお金をつぎ込むことになる。もっと十分な論議をしたうえで議決すべきである。

議会全員協議会

議会は5月・6月に計4回全員協議会を開催し町より「今後の課題や6月議会の議案」等の説明を受けた。

▶「介護基盤緊急特別対策事業補助金」として黒肥地3区の公民館・柳野公民館の改築事業としての事業費1500万円の説明を受けた。

▶上球磨選果場の老朽化に伴う「集出荷貯蔵施設整備事業補助」としていわゆる国庫のトンネル事業の約4億8千200万円追加の説明があった。補助残の80%は元気交付金の活用をするとの説明を受けた。

▶相撲場修繕は有効活用できていないのではという理由により今回は土俵の撤去と雨どいの設置のみにすべきと協議した。

▶住宅リフォーム補助金を当初予算において1,000万円計上していたが申し込みが多数あり経済効果もこれまで認められているため今回補正として500万円の追加をしたいとの意向の説明を受けた。

▶「優良繁殖牛改良事業」は当初予算にて最高限度額を30万円とし3分の1の補助10頭分300万円としていたが、その後要望書も提出され、補助率を2分の1とし限度額40万円とする追加補正案の説明を受けた。



優良優良繁殖牛のセリ市



▶まず「公立保育所の今後について」は町より「まちづくり推進委員会」の民営化に向けた答申内容が示され今後のタイムスケジュール等が示されたが議会としてもこの問題については、もつと時間を掛けて慎重に論議すべきとの判断で6月議会への上程は持ち越すべきと協議判断し町に申し入れた。

▶平成25年度一般会計補正予算として、3地区の区長より要望書が提出されている「歴史的建造物修繕費料」として町の中心部の建物を寄贈していただき多目的なコミュニティー施設として改装し「歴史文化基本構想」策定事業企画書の「歴史遺産を活用した地域振興構想」の一環として有効活用するため当面200万円での修繕を行う。また「くまもと歴町50選」の県等の補助事業を受け本格的改修事業の取り組みの予定を示された。

▶福祉タクシー補助金は当初予算で6,000円の券500世帯300万円の予算措置をしていたが、不公平感解消のために対象者増加分の約500万円を追加する事の説明を受けた。

みなさんからの陳情・要望のゆくえ

平成25年6月3日 採択	要望書	東光寺地区牛操川堤防舗装工事に関する要望書
平成25年6月3日 採択	陳情書	「年金2.5%削減法」を廃止する意見書採択に関する陳情書
平成25年6月3日 採択	要望書	介護保険費、報償費の一部を「商工会商品券」への移行についての要望書



瀬崎哲弘議員

Q 飛来するPM2.5の被害認識と対策は

A 関連機関と連携し対策をとる

策は。

平川町民福祉課長 県

質問 「PM2.5（微小粒子状物質）の対策について」
基準値平均70マイクログラム³mを越える可能性が出て、基準値が場所によってはかなりのオーバーをしている。町としての健康被害への危惧に対する認識は、またもつときめ細やかな情報を町民に提供する必要があります、その対

の情報より基準値オーバーの際、町のホームページや防災無線にて放送して注意喚起をしています。

前田健康保険課長 呼

吸器や循環器の疾患のある人や小さな子ども達の健康に影響が生じる可能性があるため、日頃から注意する必要があります。

西こども対策課長 保

育園では、朝礼で職員間に屋外での遊びや運動場での砂遊びを控え教室で活動させます。学校での対策は校内、



PM2.5計測器

家、庭での協力を依頼しマスクの準備などして予報に気を配ります。

Q 危険と認識された77箇所

A 緊急度の高い道路より順次対応

質問 「通学路の安全対策について」

平成24年4月京都で集団登校中の児童が悲惨な交通事故にあつて、各自治体で通学路の緊急点検など安

全策が求められている。本町では77箇所の対策が必要と指摘されているが町として、いつ誰が調査し、緊急性や今後の対策をどう進めるのか。

宮本教育振興課長 昨

年6月に3校区3人で校長、教頭、主任の先生をまじえ、6班に編成し一日かけて実施し、約15km程度を歩いて調査した。

他の町村に比べて、より細やかな調査をしたので計77箇所の確認をしました。

対策として緊急度の高い道路より維持管理の修理を予算計上し、通学路の安全対策に努めてゆきます。

その他の質問事項

●児童や婦女子を犯罪から守る対策について

●火葬場跡地の利用について



えびす通り通学路



皆越秋廣議員

質問 学力向上のため、土曜授業の実施をという声もあるが、どのように考えておられるか。

宮本教育振興課長 土曜日の授業については、各小中学校親子参加型の授業推進のため活用している。基本的には土曜、日曜は休み体制である。今のところ土曜授業は考えていないが、今後学校現場と十分協議をして検討していきたい。



親子参加による土曜授業

Q 学力向上のため土曜授業の実施は

A 土曜授業での学力向上は基本ではない

椎葉教育長 県も要綱はできていない、授業数が遅れたりしたときは長期休養を利用して調整している。一昨年からは学習指導要領が変わり、ほとんどの教科で約一割教科書の厚みが増えており懸念はしている。今のところ学校側から土曜授業をやらなければ時間数が足りないというようなことは聞こえてきておりません。また、土曜授業というものを進める中で学力向上というのが基本ではないと考えています。

Q 子宮頸がんワクチン 副反応対策は

A 国の勧告方針に従う

質問 子宮頸がんワクチンの定期予防接種による重い障害が残るような副反応が全国で報告されているが、その対応策についておたずねしたい。

前田健康・保険課長 厚生労働省の検討部会が傷みとか腫れの原因を調査し情報が提供できるまでは積極的な推奨は控えるべきと結論づけたことで、本町としても国の勧告に従って個別に案内をしておりましたが、

国の結論が出

I will

運命は、私が選択できる!

自分のために。
そして、これから出会う大切な人のために。
ワクチン接種と検診によって、
あなたが守れる未来はとても大きなものです。
I will・・・運命は、私が選択できる!

子宮頸がんは、ワクチン接種と定期的な検診による早期発見によって予防できます。

子宮頸がん予防をめざす専門家会議 <http://www.ccrero.jp> 【後援】群馬県教育委員会

るまでは案内を出さないようにしたいと考えております。定期予防接種から外すということではありません。この有効性を理解して接種を受けられる方については、有効性とリスクを理解したうえで、また病院の医師の先生

と相談したうえで受けられることになっておりますので、その点では、まだ定期接種は続くということです。

その他の質問事項

- 農業振興について
- 介護保険制度について



矢立信一郎議員

質問 「行政運営について」

「職員の民間企業へ長期研修」により、職員のコストやその他の意識改革にかなりの成果が出ていると聞くと、本町でも民間企業へ研修をする事により、職

Q 職員の意識改革により行政効果を
A 将来的には民間企業での研修も必要

員の「町内企業の現状把握」と「サービス向上」につながると思うが町長の考えは。

松崎総務課長 色々職員研修については今まで実施しております。本町の特徴を生かした活力のある、個性豊かな地域作りを行うとい

Q アンケートの取り方に問題はなかったか
A 積極的にいじめや、体罰対策に取り組む

質問 「教育振興について」

4月に町内の学校で実施されたいじめ体罰のアンケートを学校の先生に手渡しで渡すのは、いじめ・体罰があつ

ても書きづらいついと言つても聞かれるが、やり方に問題はないのか。教育長はどのような見解を持っておられるのか。

椎葉教育長 アンケート



職員の体験研修

うことで全職員対象に実施しており、行政研修として自治大学や新人職員を3泊4日で自衛隊派遣研修を行つて

トの取り方についての意見も、今のところ上
不満や審議についての
がってはきておりませ

6月は「心のきずなを深める月間」

いじめを許さない
学校・学級を目標して

学校・家庭・地域、みんなで「いじめ」をなくしましょう!

学校での取組例 家庭での取組例 地域での取組例

熊本市教育委員会

います。
また、今年はクリーンプラザで、ゴミ収集の体験、分別の研修をさせました。
町長 ご指摘の通り民間での研修も必要と思っております。今後は、受け入れ先にもお願いして実施したいと考えております。

Q 職員採用試験に民間企業の
A 採用年齢を引き上げ受け入れている

質問 「職員の中途採用について」

民間企業で会社勤務を経験してきた方たちを特別枠で採用出来ないか。町長の考えは。

松崎総務課長 本町で職員採用の年齢を35歳
た人でした。

ん。
宮本教育振興課長 本町におけるアンケート調査の結果、体罰の事実は無かったことに安心していますが、今後は校長会議等を開き学
校との情報を共有しながら体罰等への対策に取り組んでまいります。



魚住憲一議員

Q

県道33号線

部分着工できないか

A

用地取得が進まないことには

質問 道路整備事業について

県道人吉水上線改良工事の現在の進捗状況と、用地買収が済んだところから部分着工できないか。

久保環境整備課長

現状としては、用地交渉の段階です。現地と字図等が食い違っているため、現在の取得は7筆というところで、黒肥地3区の地区総会に県と一緒に、現況の報告をし、



着工を待つ人吉水上線

理解を求めているところです。字図の混乱箇所については、本町の税務課の協力のもとに解消に向けた手続きを進めているところです。工事着手については、ある程度用地取得が進まないと出来ないというところで、取得状況を見ながら工事は進めていくという、県の見解です。

Q

「宮ヶ野小」復校できるか

A

復校に向けて努力

質問 槻木小学校の復校が論議されていると

聞くが、教育長としてどのような見解を持つておられるのか、また費用対効果の中で地域活性化が見込まれるのであれば、宮ヶ野小学校でも、取り組みをしてみたいだけか。

椎葉教育長

教育長としての思いで答えさせていただきます。復校になればさいわいだと、やはり子供が



復校を待たれる宮ヶ野小

増えるというのは、どの地域にとつても非常に活性化することだと思います。復校できる

ような状況になれば、今、休校の状態であり管理はしています。しかし、目の届かない部分も出てきていますので、手を加えてそういう状況になれば復校できると思います。

宮ヶ野地区内には子

供もたくさんいます。地元の人たちの話を聞きながら復校できるということであれば、復校に向けて努力をした

Q

危機的な対応を

A

医師の招へいに向け努力

質問 公立多良木病院について

医師不足による公立多良木病院の危機的な対応をどう考えか。

町長 第一義的に医師

不足によるものが一番だと思います。医師の招へいについては、やることはすべてやっています。熊大等にも何回も足を

運んで話をし、医師の招へいにむけて努力をしています。



源嶋たまみ議員

質問 本町の老人福祉

計画・介護保険事業計画等を読み、人口の割に、また県下における高齢比率の順位においても介護施設が少ないと思われる。あざぎり町には多くの施設があり、本町の方も多く入所されている。現在、待機者と呼ばれる入所待ちの方は何人ぐらいいるのか、また他町村の枠を含めて何床ぐらい保有しているのか。

前田健康保険課長 本町を含め上中球磨には5ヶ所あり、社会福祉法人運営が4ヶ所、人吉球磨広域行政組合運営が1ヶ所で、5ヶ所

Q

上中球磨における特別老人施設の待機者（入所待ちの方）の人数は

A 5ヶ所の待機者の総数は841名

の総定員が330名、そのうち入所者も現在330名です。それぞれの施設からお聞きした待機者の総数は841人ということですが、

ただ一人の人が何ヶ所も掛け持ちで申し込んでいるケースが多いというので、実数についてはこれより減るものと考えています。



特別養護老人ホームあずみ野（定員 60名）

Q

介護施設の公募の予定と選定は

A 介護保険計画策定委員会に諮りながら

質問 他町村に比べて介護施設が少ないと思うが、公募の予定と選定は。

前田健康保険課長 介護保険給付費が他町村より大きな伸びを示していますので、施設整備は今のところ保留を

Q

就農支援の取り組みは

A

事業の推移を見ながら取り組みたい

質問 就農支援に取り組むJAに行政として支援出来ないか。

援事業が進む方向で努力していきたいと思っています。

仲川農林課長 今後、

事業の推移を見ながら行政としてどういった支援ができるのか考えていきたいと思っています。

町長 行政の方でも支援を考えながら就農支



就農支援が期待される耕作放棄地



吉瀬浩一郎議員

質問 1億2千万円以上ある滞納税額に関して、町は住民にどう説明するのか。町長就任の平成17年度から平成23年度までの不能欠損額（滞納税の削除）が7年で約2千5百万円になる。不能欠損が突出するのは平成20年度が約7百90万円、21年度が約8百40万円、22年度が約3百70万円、3年の合計が2千万円を超える。担当係は平成19年4月から6年間、

Q 国保税値上げすべきでない
徴収4人体制では無理
値上げもやむなし
税徴収努力する



増える滞納税にどう対処

わずかに4人態勢、これで1億円を超える未収金の徴収は困難。明らかに人員配置の誤り。徴収体制が不備であったために多額の滞納額の発生を許してしまったのでは。

Q 公立病院経営の根幹
医師不足にどう対処されるのか
危機感を持って取り組む

質問 最大の問題は医師不足。医師の確保ができれば約450人の雇用を守りながら病院経営が成り立つ。23年度決

町長 私も、いちばんの問題は増え続ける滞納額の問題だと思っている。短期保険証を活用しながら努力しているが、徴収の成果があがっていない。しかし、今、税率を上げておかなければ国保の経営はより厳しい状態になる。これまでの徴収体制は4人だったが今年からは税務課と協力しながら滞納額を減らす努力をしていく。

算は約2億4千7百万の純利益だが24年度は赤字になる。ベッド数は199床あるが入院が10床減少の場合、約1億2千万円の減収になる。医師数が減れば収益も積立金も減少する。近い将来、4町村が赤字補てんのため負担金を支出しなければならなくなる。病院は約450人の従業員を抱える大企業、心筋梗塞や脳梗塞など一刻を争う患者の場合30分の差が生命にかかわる。日曜日は院長自ら診療にあたっている。過酷な勤務状況で医師がやめると24時間救急態勢が成立しなくなる。年間約1千

5百人の救急患者の受け入れができなくなり約450人の雇用が守れなくなり住民を生命の危険にさらすことになる。そうなると上球磨消防組合や病院だけの問題ではなく4町村長の責任が問われる。この地域に住む人たちを忘れないで頂きたい。地域で医療を受け地域で家族に看取られて亡くなるという選択肢を私たち住民に残していただきたい。

町長 安心して地元に住んでいただくには、私も医師の確保が一番だと認識している。4人の町村長、病院職員も努力しているし、国にも働きかけている。道筋も少し見えてきた。私も議員と同じような危機感を持って取り組んでいる。熊本大学だ



24時間救急医療をささえる公立病院

けでなく宮崎大学からの派遣についても西米良村長にお願いしている。

その他の質問事項
◎教育の最高責任者としての指導方針について



村山 昇議員

Q

指定管理者の運営の効果は

A

雇用確保の面からは
貢献している

人体制で交代勤務をしております。雇用の確保という面からも町に貢献をしているものと思います。

Q

公共事業に地元企業を

活用すべきでは

A

地元企業参加を優先的に
考えて行く

質問

指定管理施設

「えびすの湯・ブルー
トレインたらぎ・交流
館石倉（駅を含む）」
の利用料金と町が指定
管理者に支払う委託料
との関係と委託料の金
額は。

松本企画観光課長 町

では地方自治法、町の

条例に基づきまして、

うことと、例年どおり

施設の利用料を指定管

の取り扱いをするとい

理者の収入として收受

う前提で収支を調整し、

させている。平成24年

当初金額2千5百63万

度の指定管理委託料に

7千円（介護保険報償

については、平成22年度

費60万円含む）で協定

の一般会計決算の収支

を締結した。これは施

状況を基に、この3施

設を管理運営するには

設を有効に活用しなが

必要な経費と見ます

らサービスの提供を行

し、雇用においても19

Q

指定管理者への

監査の必要性は

A

監査を行うことは可能

れば、「普通地方公共
団体の長又は委員会
は、指定管理者の管理
する公の施設の管理の
適正を期するため、指
定管理者に対して、該
当管理の業務又は経理
の状況に関し報告を求
め、実施について調査
し、又は必要な指示を
することができ」も

質問 指定管理者によ

る施設（えびすの湯等）
の管理・業務に委託料

として年間2千5百7

1万6千960円（決算額）

支払っています、出納

関連の事務について監

査を行うことも必要と

思うが町長の考えは。

町長 一か月ごとの報

告は毎回受けておりま

すが、地方自治法によ



指定管理者による施設



改修される黒肥地石倉

質問

町内の経

済活性化、雇用
機会の拡大等の
観点から町内で
行われる公共事
業に、地元企業
を活用すべきで
はないか。活用
されるように努
力すべきではな
いかと思うが町
長の考えは。

町長 実績を見

ても分かるよう

に一義的に地元企業の

方に雇用確保の意味か

らも発注している。今

後も当然地元企業に参

加をしていただくよう

に優先的に考え努力し

て行く。



久保田悦子議員

Q 公立保育所の公的な性格を残しての運営を

A 議会と議論しながら決定していきたい

質問 保育士の仕事は

低賃金のため、なり手が不足する事態もおき、政府の「子育て新システム」では、認可保育基準の切下げも考えられています。今、公立保育所には、行政サービスを担う地域の拠点として、子どもの保育水準・労働環境を守り支援する役割が求められます。公立保育所の公的な性格を残して今後の運営形態を考えると必要があると思うが、

どのようにお考えか。

西こども対策課長

町の財政事情などを踏まえ、民間でも行政でもできる業務、について検討し、費用対効果を試算し、民間に任せてもサービスの低下をまねかないものについては、順次民営化、あるいは指定管理者制度に移行しています。新たな行政分野の取り組み、きめ細やかな行政サービスの提供が可能となる行政にしかできないサービスの提供を充実し、それに伴い捻出された財源を将来を担う子どもたちのために、幅広く活用されていると思っ



今後の公立保育所の運営形態は？

す。

町長 平成19年に多良木町の第3次行政改革大綱のなかで、見直しという答申が示されています。公的保育所と認可保育所の内容については、そう変わらな

と今のところ思っていますが、議会の方からは、もう少し議論の余地があるのではないかと、真摯にそれ

受け止めて、議会と今後、協議をしながら決定していこうと思っています。

Q 生活保護法の対応は

A 福祉事務所とも図りながら実施していきたい

質問 政府は、生活保護法の申請時に、資産・収入等の書類の提出を義務づける改定を審議中です。口頭でも受け付けていた保護が受けにくくなると、日本弁護士会も反対をしているが、どう対応されるのか。

政府は、生活保護法の申請時に、資産・収入等の書類の提出を義務づける改定を審議中です。口頭でも受け付けていた保護が受けにくくなると、日本弁護士会も反対をしているが、どう対応されるのか。

等を確認後、管轄である福祉事務所に相談の内容を伝達します。その後、福祉事務所の面接訪問があり、生活保護の仕組み等を十分周知した上で申請していただくこととなります。これまでどおりという事で対応していきたいと思っ

平川町民福祉課長 申請に関しては、これまでどおり相談があれば必ず面接で聞き取りして、収入・財産の有無

申請に関しては、これまでどおり相談があれば必ず面接で聞き取りして、収入・財産の有無

●教育長の所信・教育委員会の考えについて

て

●川辺川利水・治水について



生活保護の担当窓口



林田俊策議員

質問 榎木集落支援員の今後の具体的方向性と進捗状況はどうなっているのか、また徳野教授が「集落を存続するには榎木小学校の復校は絶対条件」といわれているが復校はするのか。

授のルートの推薦者を優先に考えています。支援員の住居は飲料水の問題や改修費用等の問題もあり支援員が決まり次第決定しようと思っております。

Q 「榎木小の復校」はするのか
A 「絶対条件」とは考えていない



復校を唱える徳野教授

Q 「交流事業」の拡大をすべきでは
A 「要綱」を作り検討する

質問 「姉妹町交流事業」の現状とその成果を受け「交流事業」を民間レベルにまで広げ資金的にも支援していくべきではないか

松本企画課長 子供たちの視野を広げ民泊の

町長 これまで民生委員のご苦労を見てきていますし、その必要性は高齢化社会に伴い多くなってきたと感じます。委員の方はボランティアとしての誇りを持っていらっしゃると思いますが、今後「協力員制度」も検討したいと思えます。

ため世帯間での交流も深まり、役場間は無論、議会等での結びつきが年々増ってきていると思います。物産・経済交流を目的に町内の団体等の研修補助をする方向性で今後要綱を作り議会でも検討していただきたいと思っております。



今年も訪れた南幌町の子供たち

松本企画課長 地域の問題解決と活性化を目的とし、これまで書類による支援員応募者は5人いますが、徳野教

授のルートの推薦者を優先に考えています。支援員の住居は飲料水の問題や改修費用等の問題もあり支援員が決まり次第決定しようと思っております。

ではありません。高齢者社会の不便さを解消することが1番だと考えています。

Q 「民生委員協力員制度」の創設を
A 「制度」を検討したい

質問 民生委員の任務と重要性は？。年々増加する1人暮らし高齢

者世帯などを民生委員1人で担当することが困難な状況が見受けら

れる、民生委員以外の地域住民の協力を得ながら、助け合い支え合うことができる体制づくりを目的とし、「民生委員協力員制度」を考えては。

平川町民福祉課長 厚生労働大臣から委嘱された公務員で福祉事務所や行政機関との連携を図り情報提供や援助を行っておられます。

子供たちの交流の問題性は認識しています。本町の今後の考えの一つとして、中学校の修学旅行を一部援助し南

幌町へいたしますと、全員行けるということになりませんが、南幌町との兼ね合いもあり問題はまだまだありますので両町で煮詰めてまいりたいと思えます。

子供たちの交流の問題性は認識しています。本町の今後の考えの一つとして、中学校の修学旅行を一部援助し南

幌町へいたしますと、全員行けるということになりませんが、南幌町との兼ね合いもあり問題はまだまだありますので両町で煮詰めてまいりたいと思えます。

議会改革着々と！議会活性化委員会報告

町民と共に歩む議会 行動する議会 開かれた議会を目指しての取り組みは・・・。



6月には御船町議会を訪問し「議会基本条例」制定までの経緯と制定後の状況について議会議員のみならず、立場の異なる執行部として山本町長も参加していただきご意見を拝聴し有意義な研修となった。



議会活性化委員会は5月あさぎり町議会訪問研修を行いました。「議事録編集機器・議会ネット配信」等の視察をして郡内唯一いち早く「通年議会」を導入し取り組まれている議会として研修を行いました。後日 あさぎり町の議会事務局長坂本氏を招き「議会改革」のこれまでの取り組みの経緯や実施後の議会自身や町民の評価等の説明を受けました。

陳情・視察研修



アンテナショップ銀座館

「県東京事務所」を訪問しその役割や事業内容の説明を受け「農産物の流通の問題点」等の質疑を行いその後、県産品の「アンテナショップ銀座館」を視察し消費動向等の調査を行った。

次の日千葉県唯一の村である長生村(人口約15,000人)を訪問し「議会基本条例・通年議会・倫理条例」の制定の経緯や制定後の村民の反響を先進地研修し「議会報告会」のあり方等の意見交換を行いました。



24年度事業8項目を代議士へ陳情

議会は松本町長同行のもと「道路の整備事業や農林業活性化・整備事業等」を中心とした町の24年度の主軸事業8項目を地元選出の国会議員の金子・松村両議員を中心に衆参の議員会館を訪問し陳情した。

また金子代議士が委員長を勤める「国土交通委員会」も傍聴することが出来ました。

文責：瀬崎



24時間救急体制に 赤信号!!

公立多良木病院
危機回避の道は

▶ 医師不足

医師不足では病院経営は成り立ちません。医師の確保という医療環境さえ整えば病院経営はうまくいきます。原因は新臨床医研修制度です。新人医師が研修先を自由に選べるようになり専門的な医療を学べる都市部へ医師が集中し地方の医師数が不足することになり、過疎地の医療が成り立たなくなっています。

▶ 初めての赤字

23年度決算は約2億4千万円の利益を計上しましたが24年度の決算ははじめての赤字になりそうです。今後の病院経営を楽観的に考えるのは危険です。危機回避の道筋を立てなければなりません。

▶ 病院は大企業・医師減大変なことに

病院では多くの方が働いておられます。病院は約450人の従業員を抱えるこの地域の大企業です。入院患者一人当たり病院の収入は1日約3万3千円です。入院患者が10人減少した場合は、3万3千円×10人×365日となり年間約1億2千万円の減収になります。医師数が減れば入院患者も減り収益も大きく後退します。このままですと近い将来4町村の負担が重くなります。

▶ 選択と負担・医師の高齢化

一刻を争う患者さんには、幾つかの選択肢があります。①公立病院に行く②人吉・八代に行く③熊本市内の病院に行く。公立病院なら入院諸経費は小額ですが、人吉市ですと交通費などの経費がかさみます。熊本市ならばもっと大きな負担が生じます。身近に救急病院があることは生活に安心感をもたらします。医師の高齢化が進んでいます。病院の内規には「60歳超の医師は当直をしなくてよい」とあります。当直医師の減少は救急医療の崩壊をもたらします。日曜日は院長自ら当直されます。実態はそままで来ているのです。

▶ 救急医療体制の崩壊は地域医療の崩壊

医師もフル回転状態が続くと体力的、精神的に持続が困難です。それに疲れて医師が去っていく時、救急医療体制は崩壊します。人吉・八代・熊本市等に搬送するにしても、その時間は患者を生命の危険にさらします。今後益々お年寄りが多くなります。町長には医療を受ける立場の住民の方々に対して重大な政治的責任がありますこれは4町村の政治問題です。議会も地域医療を守るため最大限の努力をしなければなりません。

文責：吉瀬

編集後記

▼連日、うだるような暑さが続いています。全国各地の小・中・高校で熱中症の症状を訴えて病院搬送された児童、生徒が相次いでいます。また、農作物等の被害が予想されますが、管理には注意していただくとともに、農作業中の熱中症には十分気を付けていただきたいと思えます。

▼そんな猛暑のなか、第95回全国高校野球熊本大会が開催され、高校球児のひた向きに白球を追う姿、全力プレーに感動しているのは私だけでしょうか。多良木高校野球部も本格派右腕ピッチャー善君（2年生）を擁して大会に挑みましたが、惜しくも4回戦で敗退しました。野球部の頑張りにかから拍手を送るとともに、秋の新人戦に多いに期待したいと思います。ちなみに、人吉球磨郡内の4校で高校野球OB連絡協議会がありますが、その協議会の合言葉は、「人吉・球磨から甲子園へ」を目標にしているそうです。

▼これからも高校球児に負けないような熱い思いを議会だよりに掲載していきたいと思えますので、より一層のご愛読を宜しくお願いします。

（坂口）

広報特別委員会構成

◎ 瀬崎 哲弘 魚住 憲一
◎ 坂口 幸法 村山 昇
吉瀬浩一郎 林田 俊策